

留学報告書



Disney University の前にて



寮での集合写真

World of Disney
でのインターンの様子

留学先国	アメリカ合衆国
留学先高等教育機関名	英文：フロリダ州立大学 和文：Florida State University
留学期間	2023 年 8 月 ～ 2024 年 1 月
留学を開始した時の学年	2 年生

留学費用（概算）

授業料（プログラム費用）	72 万円
宿舍費（1 か月あたり）	11 万円
食費（1 か月あたり）	4 万円
通学費（1 か月あたり）	0 万円
教科書代	0 万円
渡航旅費	33 万円
保険料	11 万円
その他（ ）	万円
授業料（またはプログラム費用）は、どのように支払いましたか？	
☐ 海外送金 ☒ クレジットカード ☐ 口座振込 ☐ その他（ ）	

【フロリダ州立大学（タラハシー）滞在時】

滞在形態関連（FSU）

1) 種類

☒ 寮 ☐ アパート ☐ ホームステイ ☐ ルームシェア

2) 部屋の形態

☐ 個室 ☒ 相部屋

3) 設備

☒ シャワー ☐ お風呂（浴槽） ☒ トイレ ☒ エアコン ☒ キッチン ☒ ランドリー
☒ インターネット環境 ☒ 食堂 ☐ 電話 ☐ Studying Room ☐ 宅配ボックス

☐ その他（ ）
4) 住居を探した方法
☒ 海外留学先大学の指定 ☐ 海外留学先大学のホームページ ☐ 留学経験者に聞いて ☐ 個人的に探した ☐ その他（ ）
5) 大学までの利用交通機関と通学時間（片道）
利用交通機関： ☐ バス ☐ 電車 ☐ 自転車 ☐ 徒歩 ☐ その他（ ）
通学時間（片道）：
6) 宿泊費は、どのように支払いましたか？
☐ 海外送金 ☒ クレジットカード ☐ 口座振込 ☒ その他（ ）
7) 滞在先についての満足度を教えてください。
☐ 非常に満足 ☒ 満足 ☐ どちらでもない ☐ 不満 ☐ 非常に不満

現地情報（FSU）
1) 大学内の医務室／診療所や付属の病院などで医療サービスを受けることは可能でしたか？
☐ はい ☐ いいえ ☒ わからない
2) 現地で病院にかかったことはありますか？
☐ はい（利用機関名： ） ☒ いいえ
3) 保険について、現地の医療保険に加入しましたか？
☒ はい ☐ いいえ
4) 留学にあたり、必須の予防接種はありましたか？
☒ はい ☐ いいえ ↳ 「はい」の場合予防接種の種類：麻疹、風疹、おたふく
5) 学内外で問題が発生したときは、誰に相談しましたか？
☒ 留学先の友人 ☐ 日本にいる友人や家族 ☐ 海外留学先大学の先生 ☒ 海外留学先大学のカウンセラー ☐ 海外留学先大学の留学担当窓口 ☐ ホストファミリーや RA（レジデンスアシスタント） ☐ その他（ ）
6) 現地の治安はどうでしたか？また、現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか？また、実際に窃盗等を含む犯罪に巻き込まれた場合、どのように対処しましたか？
全て大学の敷地内で完結するため、安全性は確保されていました。寮から食堂に向かったり、近くのファーマシー（日本でいうマツモトキヨシ）に向かったりする時は、メンター（現地で面倒を見てくれた FSU の学生）と移動を共にしていたので、安心して行動できました。
7) パソコン、携帯電話、インターネット接続について、現地での利用はいかがでしたか？
問題なく使えました。 携帯の SIM カードは日本で予め海外でも使えるような e-SIM のプランにしていたのですが、ディズニー到着後のことも考え、アメリカの Mint Mobile を使えばよかったと後悔しています。何名かはメンターに SIM カードが必要なことを伝えて、セットアップを手伝ってもらっていました。
8) 現地での資金調達はどのように行いましたか？
出国前に両替をしたお金（3 万円程）を持参し、日本のクレジットカードも利用していました。

9) 利便性、買い物はどうでしたか？また現地では調達できない日本から持っていくべき物がありますか？

徒歩 10 分程の場所にファーマシーがあり、メンターに行きたいことを伝えれば、連れて行ってくれます。他にも FSU グッズを取り扱っている大きいお店や、スターバックスなどもあり、自由時間に行くことができました。コインランドリーで洗濯は可能だったのですが、乾燥機にかけられない、もしくは乾き切っていない衣類を干すために、折りたたみ式のハンガーや小さめのピンチハンガーが役に立ちました。

11) その他、生活等に関して参考となることがあれば教えてください。

部屋の気温が日本人にとっては寒かったものの、自分たちで調整できる空調設備ではなかったため、教授のロバートに相談して下げてもらいました。基本的にアメリカの施設の気温は低めに設定されているので、いくらフロリダ州が温暖な気候とはいえども、羽織るものは常に持参すべきだと感じました。

渡航について (FSU)

1) 現地空港から滞在先まで、どのようにして向かいましたか？

☒ 留学先大学のピックアップサービス ☐ 公共交通機関（バスや電車） ☐ ホストファミリーのお迎え
☐ その他（ ）

2) 到着後にオリエンテーションはありましたか？あった場合、どれくらいの期間行われていましたか？

☒ はい（期間：1 週間） ☐ いいえ

【フロリダ ウォルトディズニーワールドリゾート（オーランド）滞在時】

滞在形態関連 (WDW)

1) 種類

☒ 寮 ☐ アパート ☐ ホームステイ ☐ ルームシェア

2) 部屋の形態

☐ 個室 ☒ 相部屋

3) 設備

☒ シャワー ☐ お風呂（浴槽） ☒ トイレ ☒ エアコン ☒ キッチン ☒ ランドリー
☒ インターネット環境 ☐ 食堂 ☐ 電話 ☒ Studying Room ☒ 宅配ボックス
☒ その他（無料ジム、プール、物品貸し出しカウンター、ディズニープログラムデスク）

4) 住居を探した方法

☒ 海外留学先大学の指定 ☐ 海外留学先大学のホームページ ☐ 留学経験者に聞いて
☐ 個人的に探した ☐ その他（ ）

5) インターンシップ先までの利用交通機関と通学時間（片道）

利用交通機関：☒ バス ☐ 電車 ☐ 自転車 ☐ 徒歩 ☐ その他（ ）

通学時間（片道）：勤務地にもよりますが、大体 30～50 分程

6) 宿泊費は、どのように支払いましたか？

☐ 海外送金 ☐ クレジットカード ☐ 口座振込 ☒ その他（週払いの給料から天引き）

7) 滞在先についての満足度を教えてください。

☒ 非常に満足 ☐ 満足 ☐ どちらでもない ☐ 不満 ☐ 非常に不満

現地情報 (WDW)
1) WDW や Flamingo Crossings Village 内の医務室／診療所や付属の病院などで医療サービスを受けることは可能でしたか？
☒ はい ☐ いいえ ☐ わからない
2) 現地で病院にかかったことはありますか？
☒ はい (利用機関名：Advent Health Urgent Care Center Orange Lake) ☐ いいえ
3) 保険について、現地の医療保険に加入しましたか？
☐ はい ☒ いいえ
4) インターンシップにあたり、必須の予防接種はありましたか？
☒ はい ☐ いいえ ↳ 「はい」の場合予防接種の種類：麻疹、風疹、おたふく
5) インターンシップ先内外で問題が発生したときは、誰に相談しましたか？
☒ インターンシップ先の友人 ☐ インターンシップ先の上司・同僚 ☐ 日本にいる友人や家族 ☐ 海外留学先大学(FSU)の先生 ☐ 海外留学先大学(FSU)のカウンセラー ☐ インターンシップ先の担当窓口 ☐ Flamingo Crossings Village のスタッフ ☒ その他 (日本人のルームメイト)
6) 現地の治安はどうでしたか？また、現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか？また、実際に窃盗等を含む犯罪に巻き込まれた場合、どのように対処しましたか？
他の地域と比べると、日本と同じくらい安全です。パークに入る際は持ち物検査が入念に行われており、テロや誘拐などが起こることは無いような場所ですが、万が一に備えて危機感は常に持つておくようにしていました。 出発前に海外安全情報配信サービスの「たびレジ」に登録するよう指示がありましたが、登録しておけば最新情報がメールで送られてくるので、そちらで地域の情報は手に入れていました。 Flamingo Crossings Village (以下 FCV) の部屋も全員日本人の部屋で、盗難などでひどく心配することはなかったものの、一応貴重品等はスーツケースに入れて鍵をかけて保管していました。部屋には南京錠を持っていれば鍵をかけられる引き出しもあったのですが、私は南京錠を持っていなかったため、鍵をかけずに普通の引き出しとして使っていました。
7) パソコン、携帯電話、インターネット接続について、現地での利用はいかがでしたか？
FCV にて、滞在中 2 回ほどインターネットの接続がなくなることがありましたが、基本的には問題なく使えました。パーク・リゾート内など、ほぼ全てのディズニーの施設では無料の wifi が飛んでいるので、遊びに行く時はそちらに接続してインターネットを利用していました。 携帯電話は、仕事の連絡でも、ネットショッピングをした時でもアメリカの電話番号をよく求められたので、現地の電話番号を持つておくと思います。
8) 現地での資金調達はどのように行いましたか？
毎週木曜日に給料が振り込まれ、そこから現地での生活費用に充てていました。ディズニーからデビットカードが送られてくるので、それを使って支払いをしていました。
9) 利便性、買い物はどうでしたか？また現地では調達できない日本から持っていくべき物がありますか？
・スーパーまで向かうバスが出ているので毎日買い物には行けます。月・火曜日は Target に停まりましたが、それ以外の日は FCV から少し離れた Walmart に停まっていた。道中、キャスト・コネクションと言われる、キャストが買い物のできる場所にも停まり、そこではパークでも使われている食品や、シーズンが過ぎたグッズを安く購入できたので、よく利用していました。ただ、バスは 1 時間に 1 本しか来ず、買い物が終

わった後は待つ必要があり、しかもかなり混み合うので、そこが難点でした。

・FCV 内にも小さいターゲットやレストランなどがありましたが、全てウェスト側（FCV はイーストとウェストでエリアが分かれており、行き来は 15 分歩かバス）だったので、イースト住みの私にはそこまで行くのが面倒でした。日本のように歩いてすぐお店に行ける環境ではなかったため、物はある程度買い込んでおいて損はないと思います。

・薬は多めに持っていくべきだと感じました。私は日本では滅多に体調を崩さないタイプだったのですが、アメリカの生活が合わなかったのか、期間中 4 回も熱を出し、持ってきた 2 箱の風邪薬では足りませんでした。FCV の敷地内にもファーマシーがあり、薬を買えなくもないのですが、日本の製品の方が何かと安心できると思います。今回、私の他にも体調を崩してしまった国日生がかなり多かったので、薬は多いくらいに持参する方がいいと思いました。

・日本からは、カップ麺・せんべい・うどん・のど飴・ご飯パックなどを持って行き、後からパスタソース・めんつゆ・ポン酢・ゼリー飲料・簡易炊飯器・熱さまシート・喉スプレーを送ってもらいました。醤油は現地でも安く手に入れたため、味を気にしないのであれば持っていなくても大丈夫だと思います。値段は少し高いですが、キッコーマンの製品も普通のスーパーで売られていました。また、粉末味噌も持参しましたが、部屋に電気ケトルがなく、味噌汁を作るためにいちいちお湯を沸かすのも面倒になってしまったので、個人的にはなくても大丈夫でした。

・カップ麺、うどん、蕎麦、カレー、手巻き寿司用海苔、日本のお菓子などはエプコットの日本館で購入できます。割高ですが、10 月中旬から 40% オフのキャスト割が期間限定で使えたので、その期間にいくつか買っていました。

・日本の食品、日用品などはアジアの製品を取り扱う、Weee! というショッピングアプリでも買ったので、こちらではスーパーでは買えない薄切りの肉や、酒、みりん、コチュジャンといった調味料を購入し、ルームメイトとシェアして使っていました。

・日焼け止め、化粧品、スキンケア用品は現地で買えなくもないですが、肌と合わなかった時が怖かったので、6 ヶ月持つよう、日本のものを多めに持っていきました。

・シャワーの水は硬水なので、髪の毛はかなり傷みました。途中で買ったヘアオイルと私の髪質も全くあわなかったため、心配な方は日本でいつも使っているヘアケア用品も多めに持っていくと思います。

10) 滞在費は、どのように支払いましたか？

☐ 海外送金 ☒ クレジットカード ☐ 口座振込 ☐ その他（ ）

11) その他、生活等に関して参考となることがあれば教えてください。

・FCV 内に利用できる医療機関がありますが、こちらは旅行保険が効かない病院だったので、旅行保険適用の近くの病院（Advent Health Urgent Care Center Orange Lake）を紹介されました。基本的には熱を出しても、自力で治していたのですが、3 回目の時は 4 日安静にしても熱が下がらなかったため、プログラム開始前に日本で加入した海外旅行保険のサポートデスクに連絡し、そちらの指示を受けて、無料で上記の病院を受診することができました。

・診療後は FCV 敷地内のファーマシーに向かい、処方された薬の受け取り・支払いを済ませました。診察中に医師が薬を受け取るファーマシーを聞いてくれて、医師の方から向こうに処方箋を送ってくれるので、受診して約 1 時間後に取りに行くだけでした。処方薬は自分で立て替えなければなりませんが、後日請求可能でした。

・また、こちらの病院に行く前に直接電話をすれば、FCV まで送迎車を出してくれるので、Uber を使わずに済みます。私はその制度をはじめ知らなかったで、行きは Uber を利用しましたが、後日そちらの代金も請求できました。

・FCV から出ているバスは、目的地別にルートが A～K までありました。時刻表は DORMS（FCV 入居

者ログインページ）からダウンロードしたファイルや Passio GO というアプリから確認できます。目的地まで他のバス停に停まったり、交通渋滞に巻き込まれたり、稀に運転手の気まぐれで時間よりも早く出発したりするので、到着時間が心配な時は必ず 1 本早いバスに乗っていました。

移動について（WDW）
1) フロリダ州立大学から滞在先まで、どのようにして向かいましたか？
☒ 留学先大学のピックアップサービス ☐ 公共交通機関（バスや電車） ☐ ホストファミリーのお迎え ☐ その他（ ）
2) 到着後にオリエンテーションはありましたか？あった場合、どれくらいの期間行われていましたか？
☒ はい（期間：3 日程） ☐ いいえ

学習・インターンシップについてのレポート（履修した科目ごとに記入してください）
履修した授業科目名
Global Perspectives: Communication (Intercultural Communication)
授業内容や試験、授業を受けた感想について
アメリカの文化を学び、日本の文化を客観視できる授業でした。この授業だけは FSU 滞在時から始まり、ディズニー移動後は月 1 回 zoom を通して受講しました。課題を通して、自分が異文化の中で暮らしていることを実感し、その中で生じた様々な感情を整理できました。最終課題は、実際にアメリカ人にインタビュー・そのプレゼンで、準備は大変でしたが、非常に充実した授業でした。
履修した授業科目名の評価
☒ 非常に満足 ☒ 満足 ☐ どちらでもない ☐ 不満 ☐ 非常に不満

履修した授業科目名
Application of Communication Skills (Applied Intercultural Communication)
授業内容や試験、授業を受けた感想について
ディズニー到着後に始まる、月 1 回の授業です。職場などで感じた異文化体験を FSU のアプリを通してグループに発表したり、レポートを提出したりします。また、プログラム中最低 2 回はディズニーが主催するクラスに参加することが求められ、学んだことをレポートに書いて提出することもありました。ほぼ毎週何かしら提出するものがありましたが、課題の内容は重くなかったため、仕事の合間に取り組みました。
履修した授業科目名の評価
☐ 非常に満足 ☒ 満足 ☐ どちらでもない ☐ 不満 ☐ 非常に不満

履修した授業科目名
Communication Internship (Intercultural Communication Practicum)
授業内容や試験、授業を受けた感想について
インターンシップそのもののことです。週 5 日（ホリデーシーズン中は週 6 日）で、1 日大体 6～8 時間のシフトをもらいます。必要なトレーニングを受けてさえいれば、他の人とシフトを交換できます。特に、マーチャンダイズのルールはロケーションが違っててもやるのが基本変わらないため、自分の持っているシフトの内容によっては、ホームロケーションが違う人にシフトをあげたり、もしくはその人が持っているシフトと交換でき、色々な場所で働けます。期末には、インターンシップを通して学んだことなどをテーマにしたエッセイの提出が求められました。
履修した授業科目名の評価
☒ 非常に満足 ☐ 満足 ☐ どちらでもない ☐ 不満 ☐ 非常に不満

留学体験記

留学しようと決めた理由や、この留学先を選んだ理由	元々ディズニーが好きというのもあったのですが、このプログラムに参加した高校の先輩からお話を伺ったのがきっかけです。英語を使っての実践経験を得たいと高校生の時から感じていたため、好きなものを通じてインターンができるのは絶好のチャンスだと思い、参加を決めました。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	主に TOEFL の勉強です。1 年次に TOEFL 対策の授業を履修しており、テキストも準備しましたが、授業内では全ての問題を解く時間が取れなかったもので、空いた時間で残った問題を自分で解くようにしました。リスニング力の向上とディズニーの面接にも備えて、Disney+にある映画を英語音声・英語字幕で見るようにしていました。 また、入学して初めて行われたオンラインの国日の留学説明会にも参加しておいて良かったと思います。4 年間の授業計画を立てながら留学のイメージを持つことができましたし、選考に必要な TOEFL を早い段階で取ろうと思ったので、実際、締め切りで追われることなく過ごせました。 私は最初のロールのホームロケーションがリゾートで、ゲストから場所を聞かれることはあまりなかったのですが、パーク勤務だった時に備えて地図を把握しておくべきだったと思いました。実際何も見ずに現地に向かい、パークで遊んだ時に大体の場所を覚えていきましたが、日本にいるうちから WDW のアプリ、“My Disney Experience” をダウンロードして地理情報を入れておけば良かったと感じていました。 WDW は南米の方がよく訪れる場所でもあり、スペイン語しか話さないゲストもいるので、簡単なスペイン語も学習しておけば、その語学力も活かせたと思います。

留学中に役立った書籍、ウェブサイト、アプリ等	Disney+が役に立ちました。映画の内容も交えたジョークをゲストとの会話の中で取り入れれば、それだけでも喜んでくれたので、色々な作品を知っておいて損はないと思います。
大学・学生の雰囲気（職場や同僚の雰囲気）	優しい人ばかりでした。わからないことを聞けば必ず答えてくれましたし、その逆も然りで、質問に答えることもありました。日本に興味を持ってくれる人も多く、その話題で盛り上がった時もある、非常に楽しかったです。職場は場所によって忙しいところと、そうでないところに分かれますが、私の職場（リゾートのクイックサービスとワールド・オブ・ディズニー）はどちらも基本的に忙しいところでした。初めは圧倒されましたが、徐々に慣れていきました。
滞在先の雰囲気	FCV は敷地に入るのにもルームキーをかざさなければならないので、セキュリティは保たれていたと思います。4 人 1 部屋で、私は 2 人で寝室を分けるタイプの 1 番家賃が安い部屋でした。 FCV にはコミュニティセンターと呼ばれる、住居者なら誰でも 24 時間自由に使えるシェアスペースがあるので、そこでおしゃべりをしたり、課題を進めたりすることもありました。プールやジムもあり、こちらも 24 時間開いていたので、リフレッシュがてら利用したこともありました。
留学先における交友関係	参加した国日生、WDW で出会った人たち、どちらも良い関係性を築けたと思います。全員日本人の部屋だったので、一緒に遊びにいたり、相談に乗ってもらったり、愚痴を聞いてもらったり、体調不良の時には助けてもらったりしました。この 6 ヶ月、彼らなしでは生きて帰ってこれなかったのではないかなと思うくらい心強い存在になりました。 WDW で働く中で、友達もたくさんできました。オフの日には一緒に遊びに行ったり、職場でわからないことを気軽に聞けたり、助け合って仕事を終わらせることもありました。ホームロケーションとは別の職場のシフトをピックアップしたこともあったのですが、1 日限りの職場であってもおしゃべりを通して仲良くなれた人もいたので、まさに一期一会を体感しました。
留学中に困ったこと、つらかったこと、大変だったこと	・パークに行くバスは大体 20 分に 1 本、リゾートやスプリングスに向かうバスは 30 分に 1 本出ていましたが、リゾート・スプリングスのバスは深夜になると 45～60 分に 1 本になります。退勤時間とバスの来るタイミングが合わないことの方が多く、特に日本人には耐えられない状況なので、もしそのような勤務地になったら覚悟が必要だと感じました。 ・理不尽なゲストに当たった時が一番辛かったです。トラブルになりかねない時はコーディネーターやリーダーといった上司を呼んで解決してもらうように言われていますが、どうしても彼らをすぐに呼べない状況に一度だけあってしまい、ゲストから理不尽に怒られることがありました。プログラムが始まって 5 ヶ月目頃でしたが、それまでにこのような経験をしたことがなかったため、あまりのショックで泣いてしまいました。その日はもう立ち直れそうになかったので、コーディネーターとリーダーに事情を説明して早退が許可されて良かったものの、その後何日かは働きたくない気持ちが大きかったです。ですが、それ以降、トラブルになりかねない事態を素早く察知できるようになり、コーディネーターたちを呼んで自分の身を守る術が身につきました。 ・スペイン語しか話さないゲストの対応も大変でした。キャストの中にはスペイン

	語も話せる人がいたので、彼らが近くにいれば任せられたのですが、基本的に 1 人でどうにかしなければならぬので、ジェスチャーや簡単な英語で対応していました。気難しい方もいらっしゃいましたが、こちらが丁寧に対応すれば、感謝されることが多く、お互い英語が母国語でなくてもコミュニケーションができたという達成感もありました。
留学先における学習、課題や試験	FSU にいる間の 1 週間は毎日授業がありました。 WDW 移動後は月に 1 回の授業になりました。授業後は毎回学習内容を踏まえてのエッセイがあります。2 週間に 1 回は FSU の Canvas (Oh-o! Meiji のようなサイト) のディスカッションから議題に対する考えをグループに投稿し、そのうちの 2 人に返信する作業がありました。 3 つの授業がありましたが、試験はなく、期末レポートのようなものが 1 つ、グループ発表が 1 つありました。
大学外の活動（課外活動や自由時間など）	オフの日はもちろん WDW のパークで遊んでいましたが、貯金したお金で旅行にも行きました。ウォルト・ディズニー・カンパニーのキャストは東京以外のパークに無料で入園できるので、10 月と 1 月にカリフォルニア州のアナハイムにあるディズニーランドに遊びに行きました。
留学を志す人へメッセージやアドバイス	異国の地で暮らすことは大きな挑戦です。私はプログラム中 4 回も熱を出し、そのうち 2 回はコロナとインフルエンザで、どうすれば良いかわからず、とても不安になりました。また、ひどいゲストにも 1 回きりですが出会いましたし、軽いトラウマにもなりました。私の話す英語が伝わらず悲しくなることだってありました。辛いことはあったものの、この 6 ヶ月きちんと終わられたのはそれを上回る喜びや楽しさがあったからです。ゲストとしてもたくさん幸せをもらいましたし、キャストとしてもゲストが喜ぶ空間を作れたことは一生の思い出です。無料で配布している缶バッジを少し装飾して渡したり、泣きそうな子どもに小さいステッカーを渡したり、時には紙皿にカタカナで子どもの名前を書いて渡しただけで喜んでくれた時もあります。些細なことでもゲストが笑顔になってくれることで、何度も“世界で 1 番幸せな場所”のキャストになって良かったと思いました。 留学とインターンシップは別の括りかもしれませんが、どちらも最高の経験ができることは同じだと思います。辛い、しんどいと感じることはあると思いますが、その先には楽しいと感じる瞬間がやってくるので、諦めずに頑張ってください！応援しています！
就職活動について 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。例えば、留学前や留学中の就職活動へ向けた準備や、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。 ※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。	
特に何も考えていなかったのですが、必ず英語を使うような職につきたいと考えるようになりました。外資系の企業であれば、働き方も自分に向いていると感じました。	